

弱形 山 洛川 一月 二十日

基礎物理學研究所

湯川先生の質問

- (一) 現在確定している研究者のスタッフ
- (二) 研究部内は何と何で、それとそれと何の人数の採用を考へておられるか
- (三) 研究所では当面の目標(実験炉の建設、運転、利用)以外のものと、その研究をやる余地がどれ位あるか、例へば中核子物理の部門とか原子核物理の部門があるか、相当自由に研究が出来るかどうか。
- (四) 今直ぐ彼に立つ人になくとも経費を止めれば彼に立つ人をも採用されるのか、一人一人が孤立して入るのではなく何人が一掃に入り協力して研究してゆく可能性があるのか。
- (六) 志願者の数こそはどのようにされるか(この点に研究者は最も熱心をもつておられる。)
- これについて先に若干の質問があるが、大體の意見をきくようにとの旨入れり
- あつたが、それを尊重するようは、例へばセミールに因りてはなるか同題を今んばかりで、同様のものもセミールを念をうくられる等の方法もある(えんりる)
- No.3. 1955, 7. 5.000

No.3. 1955, 7. 5.000

c111-024-060

基礎物理学研究所

(七) 研究経緯の全表は自由か
(八) 身令の停降はどうか

○ 一月十六日に学研会やの同敷屋(長谷川)が厚さの異なる力研の停降を扱った
こんなことだか